



KAKEHASHI プロジェクト（招へいプログラム）

（対象国：アメリカ, ヒスパニックコーカスインスティテュート若手リーダー）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、米国よりヒスパニックコーカスインスティテュート若手リーダー25名が来日し、日本の政治、社会、歴史、文化および外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成28年3月23日から3月30日までの7泊8日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

米国（25名）

3. 訪問地

東京都、広島県

4. 日程

3月23日（水）成田国際空港より入国

3月24日（木）【オリエンテーション】

【日本の外交政策に関する講義】外務省北米局

【交流】外務省若手職員との意見交換

【視察】国会議事堂

3月25日（金）広島県へ移動

【歴史文化】平和記念資料館、平和公園、原爆ドーム

3月26日（土）【歴史的建造物視察】宮島

【民泊対面式】広島県安芸太田町

【民泊・伝統文化体験】

3月27日（日）【民泊】

【歓送会】

地方プログラム終了後、東京へ移動

3月28日（月）【歴史的建造物視察】浅草寺、原宿

【ワークショップ】

3月29日（火）【報告会】

【交流】若手国会議員との意見交換

3月30日（水）成田国際空港より出国

5. KAKEHASHI Project アメリカ、ヒスパニックコーカスインスティテュート若手リーダー プログラム記録写真



3月24日【日米関係概要講義】外務省
(東京都)



3月24日【視察】国会議事堂
(東京都)



3月25日【歴史文化】平和記念公園
(広島市)



3月26日【歴史的建造物視察】宮島
(廿日市市)



3月26～27日【民泊・伝統文化体験】
(安芸太田町)



3月28日【歴史的建造物視察】浅草寺
(東京都)

	
3月29日 【報告会】（東京都）	3月29日 【交流】若手国会議員との意見交換（東京都）

6. 参加者の感想

◆ 米国 ヒスパニックコーカスインスティテュート若手リーダー

・広島を訪問し、被爆者の講話を聞いたことが非常に印象に残りました。そして、この出来事がどのように今日の日本社会を形成してきたのかを理解することができました。日本について今後も更に学び続け、この国の平和と発展のために寄与していければと思います。

・ホームステイは素晴らしい経験でした。ホストファミリーの方々のご配慮で地域の特徴や日本の宗教について学ぶことができましたし、夕食や朝食ですばらしい「田舎の食事」を楽しむことができました。歴史や政治に関する話題から野球や学校についてなど、様々なことについて話をすることもできました。本当に忘れられない経験でした。

・訪問した中では、参議院本会議場を含む国会議事堂の視察が特に印象に残っています。私は政治学の教授なので、この視察は本当に貴重な経験でした。また新幹線に乗り、日本人がどのように国内を旅行するのかを知ることでもでき、すばらしい経験をすることができました。

・帰国したら多くの人々に日本の社会のすばらしさやアメリカ政府にとって日本との関係がどれだけ重要であるかなどを伝えたいと思っています。

7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）

Short-term: ○ Presentation on KAKEHASHI at CHCI offices and open up to a broader audience ○ Show & Share: Include Japanese food, language, and cultural keepsakes ○ Create presentation slides on our policy areas in comparison with Japanese counterpart ○ Share our stories as Latinos with Asian-Pacific Islander congressional fellows (APAICS) ○ Give virtual tour to our host families of our city and home ○ Incorporate our story/experience in Japan with fundraising activities	Long-term: ○ Promoting international affairs in CHCI continued education ○ Be more attuned to international customs and decorum ○ Consider ways to give back for what we've been offered through KAKEHASHI ○ Maintain connection with host families/give thanks to host families by creating a video or something ○ Continue promoting KAKEHASHI program through social media ○ Using the hash tags beyond trip dates ○ Compile saved social media content and make a story ○ Utilize commonalities for developing a project with local organizations in home states
短期的なアクションプラン	長期的なアクションプラン